

9月
議会定例会

新型コロナウイルスワクチン接種

1回目83%、2回目68%

9月議会定例会が、9月9日から17日までの7日間にわたり開催され、条例の制定や令和2年度各会計補正予算案などの20議案と報告2件、承認1件、認定1件の計24件が提案、可決されたほか、令和2年度歳入歳出決算について認定されました。



行政報告

◆ 新型コロナウイルス
ワクチン接種状況

コロナワクチン接種については、5月15日から毎週土曜日を中心に、集団接種を実施してきました。これまで、接種累積日数が20日を数え、順調に経過しています。

9月4日終了時点で、町民の対象者全体(2,944人)の接種率は、1回目83%(2,464人)、2回目68%(2,020人)です。
内訳として、65歳以上は1回目91%

(1,413人)、2回目90%(1,394人)で、64歳以下は1回目75%(1,051人)、2回目44%(626人)です。

町の集団接種終了後の希望者に対しては、個別接種で対応していただくこととなりますが、引き続き、希望する方全員へのワクチン接種に向けて、周知をしていきたいと思えます。

◆ 敬老式について

例年5月に開催していましたが、敬老式ですが、昨年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、延期としていました。

感染者が、能代市山本郡管内でも確認されているところですが、町内で感染者が発生していないことと、昨年同様、最低でも初敬老の方々にはお祝いをしたいとの思いから、規模を大幅に縮小して、敬老式と金婚式を開催することで考えています。

具体的には初敬老者の参加希望者と金婚式への参加希望者のみで、飲食や余興

などは行わず、式典のみの内容としています。

なお、敬老祝い金については、昨年度と同様に、役場窓口で、出席者以外の皆様にお渡しします。

◆ 町民祭について

10月30日から2日間にわたり予定していましたが町民祭の実施につきましては、ワクチン接種会場との兼ね合いもあつたため、関係諸団体と協議した結果、1週間延期した11月6日の1日間とし、昨年同様、新型コロナウイルス感染症対策を十分に徹底したうえで、従来の規模を縮小して実施する方向で検討していますが、今後も秋田県内の感染状況を鑑みながら、再度、検討することとしています。

◆ 藤里町過疎地域持続的発展計画

「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で期限を迎え、新たな過疎法として「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が4月に制定されました。

藤里町は昭和46年に過疎地域に指定されて以来、過疎法に基づいた、社会資本整備、産業の振興、福祉・医療・教育等の各種事業を実施し、一定の成果をあげてきました。

新法では、旧法の支援措置であった過疎対策事業債についても継続して措置されることになり、また、過疎対策の目標には「移住・定住」、「地域の情報化」、